

公立学校共済組合広島支部第2期データヘルス計画の概要

1 広島支部第2期データヘルス計画とは

広島支部の疾病構造を把握するため、平成23年度から平成27年度の医療費及び特定健診結果の分析を実施し、そのデータに基づき、効果的・効率的に組合員及び被扶養者の健康の保持増進を図るため、今後、重点的に実施する保健事業についての計画及び目標を設定しました。

【計画期間】平成30年度～平成35年度（6年間）

広島支部第2期データヘルス計画(全文)は、公立学校共済組合広島支部のホームページに掲載しています。

公立学校共済組合 広島支部 データヘルス計画

検索



2 広島支部の現状と対策

加入者の状況

・全体平均に比べて、加入者の平均年齢が高く、女性の占める割合が多い。(H28.3.31時点)

広島支部の加入者数			加入者の平均年齢		加入者のうち女性の割合	
組合員	任意継続組合員	被扶養者	全体	広島支部	全体	広島支部
21,154人	645人	16,925人	34.5歳	35.7歳	54.6%	56.6%

生活習慣病の状況

【現状】

- 生活習慣病の加入者一人当たりの医療費は、全体平均より低いが、平成23年度に比べ、平成27年度は増加している。
- 疾病別の加入者一人当たりの医療費をみると、「その他内分泌疾患、栄養及び代謝疾患（脂質代謝異常など）」、「高血圧」、「糖尿病」の順で高くなっている。
- 疾病別有病者一人当たりの医療費をみると、「腎不全」が高くなっている。
- 特定健診結果（40歳以上の健診）によると、全体に比べて、肥満者、生活習慣病のリスクのある者の割合が高い。また、生活習慣をみると、運動、食生活、飲酒について良くない習慣の者が多い。
- 特定健診・特定保健指導の実施率が目標に達していない。

【対策】

- 特定健診・特定保健指導、生活習慣病予防健診（人間ドック）の継続や、加入者が健康づくりに向けた行動につなげられるよう、疾病の発症や重症化を防ぐための健康情報の提供や知識の普及啓発に努めます。

悪性新生物の状況

【現状】

- 悪性新生物に係る加入者一人当たりの医療費は、年度によって差があるが、全体平均に比べて低い。
- 疾病別の加入者一人当たりの医療費をみると、「乳房の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」の順で高くなっている。

【対策】

- 悪性新生物の早期発見のため、生活習慣病予防健診（人間ドック）、器官別検診の継続や国の動向を踏まえた見直しを行います。また、市町が実施するがん検診の周知を行い、より多くの加入者ががん検診を受検できるよう働きかけます。

精神の疾病の状況

【現状】

- 加入者一人当たりの医療費は全体平均より高いが、平成23年度と比較すると平成27年度は減少傾向にある。
- 有病者率は全体平均より高いが、有病者一人当たりの医療費は全体平均より低い。

【対策】

- 県・市町教育委員会と連携を取り、セルフケアを推進するための知識の普及啓発や専門的な相談窓口の設置など、各教育委員会が実施するメンタルヘルス対策の一角を担う取組を進めます。

3 今後の保健事業の重点的な取組（平成30年度～32年度）

生活習慣病対策

- 指定年齢健診・シニア普通ドック等の継続実施
- 特定健診の受診率の向上（被扶養者等への受診勧奨）
- 特定保健指導の実施率の向上（当日実施型、学校訪問型など受けやすい体制の整備、被扶養者等への利用勧奨）
- 特定健診結果の個別情報提供
- こころとからだのリフレッシュセミナーの開催
- 生活習慣病に関する知識の普及啓発（福利ひろしま、健康図書の配付）

悪性新生物対策

- 器官別検診（肺検査・レディース検診・大腸がん検診）の継続実施
- 指定年齢健診・シニア普通ドック等の継続実施（再掲）
- 悪性新生物に関する知識の普及啓発（福利ひろしま、HP）
- 市町のがん検診等の情報提供

メンタルヘルス対策

- メンタルヘルス相談（専門医療機関、臨床心理士、産業カウンセラー）
- メンタルヘルス講演会支援事業
- こころとからだのリフレッシュセミナーの開催（再掲）
- メンタルヘルスに関する知識の普及啓発（福利ひろしま、健康図書の配付）

一般事業

- ライフプランセミナー
- 招待事業（プロ野球・プロサッカー・芸術文化）
- 宿泊保養施設の利用助成

※対象者の記載のない事業については、組合員（任意継続組合員を除く。）を対象としている。
※被扶養者等とは、被扶養者及び任意継続組合員をいう。

4 各事業の評価項目及び目標値の設定

重点的に取組むこととしている保健事業について、評価項目及び目標値を設定しました。

主な目標値

	特定健診受診率	特定保健指導実施率	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少	脂質異常症の減少		血糖コントロール不良者の割合の減少
				男性	女性	
現状	83.0% (H28年度)	25.4% (H28年度)	該当者12.6% 予備群10.9% (H27年度)	13.4% (H27年度)	13.7% (H27年度)	1.0% (H27年度)
目標値	90%	45%	25%減	6.2%	8.8%	0.8%

生活習慣の変化（食、運動）

		現状	目標値
食習慣	①「人と比較して食べる速度が速い」の回答が「速い」の人の割合	①39.0%	①33.1%
	②「夕食後に間食（3食以外の夜食）をとることが週に3回以上ある」の回答が「はい」の人の割合	②18.6% (H27年度)	②15.8%
運動習慣	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している」の回答が「いいえ」の人の割合	82.8% (H27年度)	64.0%

5 データヘルス計画の評価と見直し

組合員等の健康情報に基づき、既存事業の効果を検証し、支部運営審議会において報告し、次年度の事業の改善を図るとともに、平成32年度に中間評価を行い、計画を見直していきます。

お問合せ先：公立学校共済組合広島支部 健康管理係

〒730-8514 広島市中区基町9番42号

TEL 082-513-4956

